桑原小だより

平成28年12月2日
桑原小学校長　小川和彦

全国学力学習状況調査の結果について　No.１

９月末に公表された全国学力学習状況調査について、本校の状況やその後の取組み等について、その概要を３回に分けてお知らせします。

９月末に全国学力学習状況調査の全国や県の状況が公開されました。新聞やテレビで紹介されたように、全国的には、地域差が縮小しているものの、活用問題については低迷しているなどの報道がなされました。また、岐阜県では、小学校において全国との比較について向上が見られるとも報道されました。

この調査は、今年の４月に、６年生が取り組み、国語の基礎問題と活用問題、算数の基礎問題と活用問題について実施されました。

桑原小学校においては、昨年度も、今年度も、全国や岐阜県の平均正答率と比べ、相当に高い結果でした。正答数で見ると、基礎問題・活用問題ともに、国語では、１～２問程度、算数では、２～３問程度よくできているという状況です。

具体的に見ると、国語の基礎問題では、言葉の知識や書く力、話す力や聞く力は、優れていました。

国語の活用問題では、書く力や読む力が優れており、反面、話す力や聞く力に弱さが見られました。特に、「目的に応じて、質問を整理する力」「質問の意図を捉える力」に、課題がありました。

そこで、次のような指導を今後も大切にしていきたいと考えています。「話す力・聞く力」の育成を多様な学習経験を通して行い、目的に応じて、伝えたいことをはっきりさせた伝え方をさせたいと思います。

算数の基礎問題では、目立った弱さは見られませんでした。

算数の活用問題でも、特定の弱さは見られませんでしたが、数量関係に関わる説明や理由を述べる問題において、課題がありました。

そこで、今後も、式の意味を理解できるようにすること、その上で、式の意味を説明できるようにする指導を大切にしていきたいと思います。同様に、グラフ等の資料を整理し、その特徴や傾向について考えることができるように指導していきたいと考えています。

さらに、新聞紙上でも紹介された県教育委員会で取り組む予定の「教科学習ウェブシステム」が導入され、各学校で活用できるようになれば、こうしたシステムを活用した学習や指導についても、積極的に利用していきたいと考えています。

次回は、結果に影響した、学校や家庭での生活習慣などについて、ご説明する予定です。

全国学力テスト

県内小学校 全国比で上昇

正答率 中学は平均以上維持

県教育委員会は29日、県内の小学6年と中学3年を対象にした本年度(全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を公表した。小学校は全科目で平均正答率の全国比が昨年度より上昇した。中学校は2007年度の調査開始以来、全国を上回る平均正答率を維持している。県教委は「学力の土台となる基礎的、基本的な内容の確実な定着を図っていく」としている。

【関連記事3、14、24面に】

調査は今年4月に実施。県内で対象児童生徒が在籍する全ての小学校371校の6年生約1万7980人、中学校188校の3年生約1万8460人がテストを受けた。

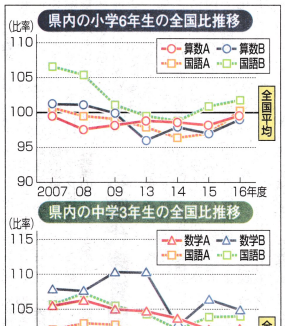
県内の小学校の平均正答率と全国順位は、国語Aが73・0%(昨年度67・8%)で24位(45位)、国語Bが58・8%(65・9%)で15位(22位)、算数Aが77・2%(73・8%)で27位(40位)、算数Bが46・7%(43・6%)で26位(34位)。

中学校は、国語Aが75・8%(76・4%)で24位(13位)、国語Bが69・1%(68・3%)で8位(4位)、数学Aが63・5%(65・7%)で14位(9位)、数学Bが46・2%(44・2%)で8位(6位)。

全国の平均正答率を100とした場合の小学校の平均正答率は、国語A100・1(96・9)、国語B101・7(100・8)、算数A99・5(98・1)、算数B98・9(96・0)。国語Aが全国平均を上回るのは07年度以来。算数A、Bは全国を下回る状況が続いているが、差は縮まっている。

中学校は、国語A100・3(100・8)、国語B103・9(103・8)、数学A102・1(102・0)、数学B104・8(106・3)。国語Aと数学Bが昨年度よりやや下回ったものの、いずれも全国以上を保っている。

県教委は、個別指導の充実を図るとともに、来年度から小学校の算数で具体的な課題が確認できる教科学習ウェブシステムの導入を予定するなど、学力向上を目指す。松川禮子県教育長は「きめ細やかな指導の充実を図り、子どもの学力を伸ばす取り組みに力を入れていきたい」とコメントした。



※全国比…全国の平均正答率を100としたときの県の平均正答率
※抽出調査を実施した2010、12年度と調査を実施しなかった11年度は除く。

県教委は、個別指導の充実を図るとともに、来年度から小学校の算数で具体的な課題が確認できる教科学習ウェブシステムの導入を予定するなど、学力向上を目指す。松川禮子県教育長は「きめ細やかな指導の充実を図り、子どもの学力を伸ばす取り組みに力を入れていきたい」とコメントした。